

Hanamaru Monthly Newsletter

花まるたより

12
2022



雪国スクールより

- ｜ 高濱コラム
- ｜ タケノコシート
- ｜ 花まるリビング
- ｜ レインボータイム
- ｜ アルコクラブ
- ｜ 職人の無人島レポート
- ｜ 卒業生物語
- ｜ おはなしのキッチン
- ｜ 平沼純の旅する読書
- ｜ アノネ Lounge
- ｜ Rin コラム
- ｜ タカラモノはどこに
- ｜ 花まるコラム
- ｜ 花まるファミリー

2022年12月



ルーツ

おかげさまで、花まる学習会は、今年もオリコン顧客満足度「幼児・小学生・学習教室」において総合一位、進学塾もすべて含むイード・アワード「塾」部門、小学生の部でも、並み居る有名学習塾を抑えて最優秀賞でした。かわってくださるみなさまのおかげです。ありがとうございます。

今年は、重症化率は落ちても感染力は相変わらずの、コロナの広がりを横目でにらみながらも、かなり平常に戻ってきた年でした。みなさまはどのような一年でしたか。私にとっては、いくつか大きな発見がありました。

一つめは、「自己肯定感に焦点を当てることの重要性」。ここ数回、この欄で書いたような教室での子ども様子や、花まるエリメンタリースクールでの実績により、「無条件の愛で包みこみ、存在を喜び祝福する」ことで、症状名を抱えた子たちすらも、かなり自己コントロールできるものだ、ということを発見しました。これはもちろん「健常」と呼ばれる子たちにも、当然当てはまる真実で、単純にくっつくことや、「好きだよ」と伝えることの価値も、再認識しました。

二つめは、「おせっかい・仲立ち役の効

用」。あるご夫婦が、一言で表現すれば「夫婦の危機」に陥ったのですが、奥さまのご両親にひとかたならぬ恩があったこともあり、「私がお二人と話しましょう」となったのです。にらみあった二人。妻の言動の矛盾を指摘し論破して、問題点を整理し明確にしようとする夫。悪気などない。何とか惨事状態から回復させたい、誠意と善意のなせる業です。一方、妻は感情的な攻撃で返す。理 vs 情。どこまでも噛み合わない主張。序盤は最悪の空気でした。

それでも、お互いの発言の間に私が割って入って「なるほど、〜ということですね」と、合いの手を入れるだけで、少しだけ空気が変わる。ご主人に「では、奥さまに感謝していないということですか」と誘うように問うと、「いえいえ、それはもちろん私が多忙で協力できない期間も長かったのに、ワンオペで子どもたちを育ててくれたことには感謝しています」と、言葉にする夫。一瞬、表情が柔らかくなる妻。そんな行き来がありました。ただし、最後のほうでは再び炎上状態になり、奥さんの取り乱しを見て、夜電話で「良い精神科医を紹介するので、一度相談してみては？」とまで伝えたのです。そのときには、失敗

したな、と思いこんでいました。

ところが、数日後にご夫婦が私の目の前に現れたときには、奥さんが夫の背中をポンポンたたきながら、お二人とも笑顔になっていたのです。二人の間に入って話を聞こうというのは、頼まれたのではなく私の提案でした。つまり「おせっかい」です。しかし、おせっかいの仲立ちは、大きな意味と効果があると感じました。

現代は、隣人がどんな人物かもよく知らない、他人の人間関係に余計な口出しをしない「無難」が選択される時代。しかし、やはり人と人は、二人きりでは「通じないな」と心が遠ざかったりすることがあっても、たった一人、誰かが取りなすだけでうまく行くこともある。そう痛感しましたし、「実数として三分の一が離婚する時代に、これはビジネスにすらなるかもな」とまで感じました。

発見した三つめは、「伝統を学ぶことの価値」。コロナ禍の三年間で生み出されたのが「オンライン教室」ですが、メリットもたくさんあり、これまで参加できなかった海外の会員も増えたのです。その海外組の多くが、教材のなかでそれが良いと思うか

新刊情報

『マンガでわかる！ 10才までに覚えたい百人一首』

高濱正伸、吉海直人監修（永岡書店）



「小倉百人一首」をマンガで解説した一冊。和歌の内容や作者の紹介、時代背景、文法、語句の意味などがマンガで楽しく理解できます。和歌がスラスラ覚えられ、決まり字のゴロ合わせも紹介。かるたに勝てる！暗記ポスターつきです。

『スタンフォード大学に3人の息子を入れた賢い頭としなやかな心が育つ0歳教育』

アグネス・チャン 著、ヘレン・チャン 監修
（ディスカヴァー・トゥエンティワン）

「私はわが子たちを〇〇大学に通しました」を根拠とした子育て本はたくさんある。おもしろいものも多いが、サンプル数が少なすぎるので、参考程度にとどめることが多い。しかし、そんななかで本書は、読後感がよかった。確かに大きな不安を抱えがちな乳児期の母たちへの「自分の、子どもへの愛情を信じようよ」というメッセージが一貫して温かく伝わってきたからだ。勇気づけられる母親も多いであろう。著者の姉である医師が監修をしていることも、思い込みの言葉ではないと感じさせる説得感につながっている。

高濱の本棚

という質問に、「たんぼ」や「四字熟語」と答えたというのです。普段は、思考力教材の草分けである「なぞべー」や「キューブキューブ」を評価する声が多いので、新鮮でした。

それは、こういうことではないでしょうか。国際人になれとか、世界で活躍できる人材を生み出せという声は、いまも昔もよく聞きます。それに対して、「英語をしっかりと学ばせよう」というような判断になることが普通なのですが、実際に海外に出てみれば、「結局、あなたのルーツや伝統は何？」と問われる。そのことを肌身で感じた方々だからこそ、母国語の根っこを感じ学ばせる古典の素読（たんぼ）や四字熟語に、価値を感じることではないのか。

ちょうど、シグマTECHの国語指導で腕を振るってきた内山朝就（ともや）がメインの書き手となって、『マンガでわかる！10才までに覚える百人一首』（永岡書店）という本を出したのですが、できあがるまでのやり取りのなかで、「あー、やっぱり百人一首っていいなー」と感じたばかりです。すっかりご無沙汰でしたが、親戚の集まりでいと同じく遊ぶとなると、トランプや麻雀や囲碁はもちろん、百人一首もやっていました。わが家はいとこたちのなかでは最年少組なので、お兄さんお姉さんに遊んでもらう立場だったのですが、上の句だけ読んで下の句の札を取るという高度な内容に興じる

とこたちに、感動し憧れたことを覚えていきます。この百人一首体験のおかげか、人吉弁（し）したげな、のような古語が生きている）のおかげか、野球部一徹（成績など転げ落ちる）ように下がっていった高校時代ですが、古文の成績は何もしなくても良かった記憶があります。

今回、数十年前ぶりに百人一首を一覧して感じたのは、大和言葉（やまとことば）というのか、この列島に生まれ、長く長く宮々と使われていた言葉の、染み入る感覚です。時代を超えて共感できる「人が人を想う感性」「月や花と対峙するいまを愛でる感性」等も含め、心が整う感覚を味わいました。

9・11で幕を開けた21世紀。たった20年ほどの間に、私たちは、テロも、大震災も、原発事故も、パンデミックも、大国による侵略という戦争も、大洪水などの自然災害も、教科書で習ったようなことを、軒並み経験・目撃しました。経済も「失われた30年」と言われる状態でした。しかし、こういう時代だからこそ、喪失したことやネガティブなことにこだわり嘆くのではなく、「在るもの」に目を向け、感謝して生きていきたいものです。

まだまだ衣食住も何とかなりますし、スポーツや音楽を楽しむほどに平和です。そして、私たちには、世界のどこにも負けない伝統があります。震災の直後でも略奪

ではなく、並んで配給を受けられるような一つの行動に、深い伝統に裏付けられた文化が根付いていると思います。百人一首に限らず、茶道・俳句・能・柔道・書道・着物などなど、長く生き残っている優れた文化に目を向け、触れて味わい、その奥にある先人からの贈り物ともいえる文化や感性のルーツを確認すること。それは、深いところで心を支えるでしょうし、一人の人間の魅力に直結しているように思います。

良いお年をお迎えください。

花まる学習会 高濱 正伸

高濱正伸 講演会

「母親だからできること 第一部 子育ての落とし穴」

日時 2023.1/22 日 10:30 ~ 12:00

開催方法 オンライン

(花まる子育てカレッジ YouTube アカウントより生配信)

期間限定 アーカイブ配信予定

花まるだより 2022年12月号
(令和4年12月15日発行)

編集・発行 株式会社こうゆう
花まる学習会
発行人 高濱 正伸
企画・編集 久慈 菜津紀
編集 金井 彩・清田 奈甫
坂田 翔・高橋 奈穂
デザイン 春日 梨沙・西野 奈布子
印刷 アークランド株式会社

新春



タケノコシート & フィードバックシート

をお渡しします！



年内最後の授業で、年中～3年生には「タケノコシート」を連絡帳に貼ってお渡しします。4～6年生には「フィードバックシート」を、スケジュールを記入する青いシートに貼っています。

〈見本(1,2年生)〉

花まる学習会 1年 2期 さんの タケノコシート 2021

新学期の目標を達成するために、毎週「7つの力」に取り組んでいます。

学年	7つの力	達成状況
1年	規範(律する力)	毎週目標を達成しています。
1年	基盤力(こなす力)	毎週目標を達成しています。
1年	想像力(思い描く力)	毎週目標を達成しています。
1年	言語力(ことばの力)	毎週目標を達成しています。
1年	始動力(はじめる力)	毎週目標を達成しています。
1年	思考力(自分で考える力)	毎週目標を達成しています。
1年	完遂力(やりとげる力)	毎週目標を達成しています。

このシートは、毎週「7つの力」に取り組むためのシートです。毎週目標を達成している場合は「達成」を記入し、達成していない場合は「未達成」を記入します。

Point 1

「7つの力」にもとづいてお子さまの成長をお伝えします。

Point 2

お子さまの様子について、講師より直筆でメッセージをお届けします。

Point 3

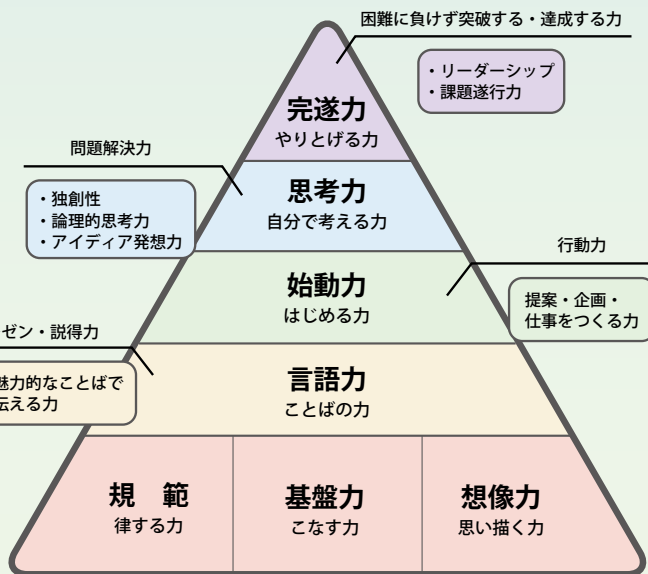
ほめほめポイントで、お子さまの素敵なところをお伝えします。

7つの力

花まる学習会では、試験に通る力もさることながら、社会に出て魅力的で自立できる大人を育てたいと考えています。そのために必要な力を、次の7つに分類しています。

このどれもが、子どもたちが社会に出て自立するためには不可欠です。

「タケノコシート」では、この「7つの力」にもとづいて一人ひとりのいまの強みと、これからより鍛えていきたい部分をお伝えします。



- ① 規範 (律する力)
- ② 基盤力 (こなす力)
- ③ 想像力 (思い描く力)
- ④ 言語力 (ことばの力)
- ⑤ 始動力 (はじめる力)
- ⑥ 思考力 (自分で考える力)
- ⑦ 完遂力 (やりとげる力)



保護者のみなさまからの声をご紹介します。

- ・タケノコシートを読んで、心が温まりました。また子育てを頑張ろうと力が湧いてきました！
- ・週1回、1時間半という短い時間だけれど、わが子のことをしっかり見ていただけていることがわかって感動しました！



勝谷 里美

花まる学習会の教室長を担当しながら、花まる学習会や公立小学校向けの教材開発や、書籍出版に携わる。現在は、3児の母として子育てに奮闘中。著書に『東大脳ドリルこくご伝える力編』『東大脳ドリルかんじ初級』『東大脳ドリルさんすう初級』（学研プラス）ほか。



「家族の食」に関して、自分で自分を追い込まない

真ん中の子が通っている保育園から、年に一度「食」に関するアンケートが届きます。ここだけの話、それに回答するのが、ちょっとだけ苦痛です。なぜなら、「あ、うちはこれでもできていない」「本当はこうしたいがいんだろうな」という反省がさまざま頭をよぎるからです。

どんな内容かというと…

Q「家族と一緒にごはんを食べる頻度はどれくらいですか？」

私の心の声↓（理想は一緒に食べたほうがいいのはわかっている！でも、朝は、子どもたち一人ずつ起きてくれないととても対応できないし、夜は、離乳食や習い事のタイミングもあるし全員ばらばら…）

Q「帰宅後、間食をしていますか？」

↓（している…。何なら、夕飯ができる前に、間食しておかないと、ごはんを食べない…）

Q「ごはんを食べている間、テレビはついていませんか？」

↓（消したほうがいいのは知っている…。そううまくはいかない…）

反省と言いつつ…。とはいえ、理想を追求して、母親の私が苦しくなってしまうのが一番よくない、母がご機嫌であれというのは、高濱も講演会等よく言っていますし、ほどほどに手を抜いた食卓でいいだろう、と割り切っている部分もあります。

ただ「食」に関しては、生活に直結しているから

でしょうか、揺さぶられる部分が多いなあ、というのは、八年目の母として常々感じてきた部分です。

わが家は、いま五大家族。お弁当を買うときは、三つ買うことが多いです。夫、長女、長男。末っ子は、まだお弁当は食べない。私は、長女と次男がたいてい少しずつ残すのでその残りを食べます。

いま、末っ子の離乳食が三回食になり、自分がごはんを食べるタイミングが、つかめています。ルーティーン的生活リズムを決めて、それを遵守し続けられたい。ただそれだけのことのように、毎日ががうつこと（主に、きょうだいのもめごと、その日の疲れによる気持ちのアップダウン…など）が起きて、結局バタバタ、自分のごはんがほとんど後回しになっていきます。家族と同じタイミングで座ってごはんを食べる、それを最優先にできなくもないのに、（あいま手が空いた。チャンスだから水筒を洗っちゃおう）など、タスクをこなして動いてしまっている部分もあるので、自分が悪いとも言えるのですが…。

この前、長女に「ママ、知っている？家族って、同じものを食べると、顔が似てくるんだって。だから、ママもみんなと同じものを食べなきゃ、顔が似てこないよ」と言われて、かつちゃん、と来てしまいました。

（誰のせいで、落ち着いて座ってごはんが食べられないと思っているんだー！）という気持ちでぐっぐぐらえて、「…そうだね」と静かに返すにとどめました。

「かつちゃん」ときた理由は、どこかで、自分の



『ぼくらはうまいもんフライヤーズ』

岡田よしとか 作
(プロンズ新社)

「食」にまつわる絵本はたくさんありますが、最近、長男がまっているシリーズ。『うどんのうーやん』や、『ちくわのわーさん』など。いろいろな食べ物が主人公で、どの本も「え！」「そんな展開になるとは！」と、大人でも驚きをかくせない、楽しさ満載です。生活に直結している「食」は楽しいのが一番！と、このコラムを書きながら改めて感じています。

なかに「私が犠牲になっている」という感覚があるからだと思います。残り物を食べるのも、家族とは別の時間にごはんを食べるのも、自分が能動的に選んだことならはまったく問題ない。仕方なくそうになっている状況に、自分でも引っぱかりがあるから、指摘されるとむっとしてしまいます。

理想はある。でも、そううまくはいかない。そのときは、別の手段を、能動的に選びたい。最近、「むいた果物の一番おいしいところをこっそり食べる（たとえば桃の真ん中の部分）」や、「いつもは残り物でも時々、ご褒美に、家族が誰も知らないお店を開拓してこっそり外食」なんていうのも、自分の機嫌を自分でとるために効果的かな、と思います。

——「家族の食」に関して、自分で自分を追い込まない。これからも考え続けたいテーマです。



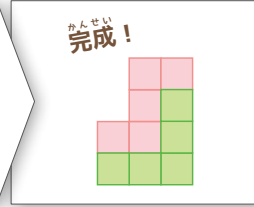
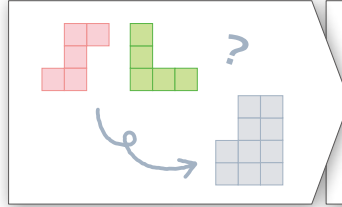
こんげつ

今月のレインボータイム

出題：数理教室 花まる学習会
ALGOCLUB

【ふたごキューブ】

指定されたピースを使って、
同じ形を作ろう！

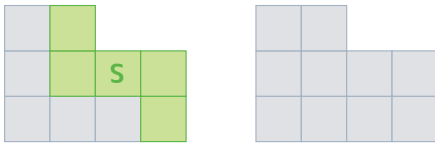
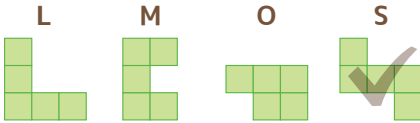


かいとう
解答はこちら！



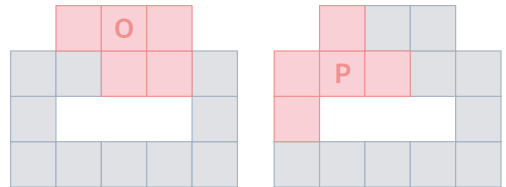
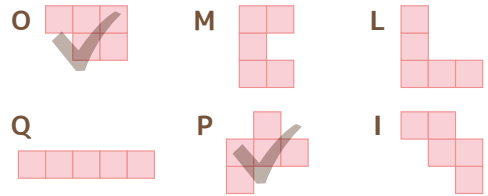
レベル 10

使用ピース



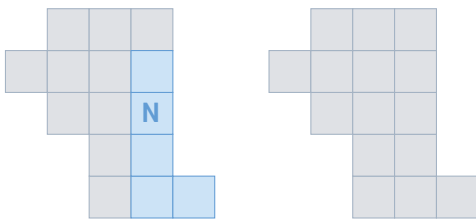
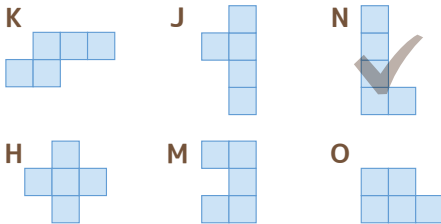
レベル 30

使用ピース



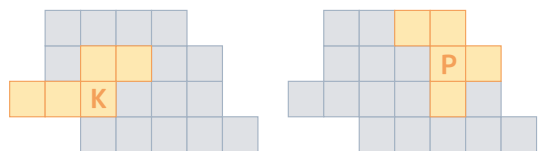
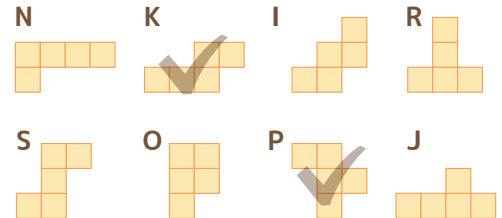
レベル 50

使用ピース



レベル 70

使用ピース



数理教室 花まる学習会 **ALGO CLUB** の授業

5・6年生

思考タイム

プリント

アルゴゲーム

思考タイム

議論や対人ゲームのなかで、自分の考え方を伝え、他者の考え方を学び、より洗練された思考を習得します。



教具

立体・平面のパズルで図形センスを磨きながら、論理的に考える習慣を身につけていきます。



1キューブ



ジオ1・2



マジカルスティック

1～4年生

教具

プリント

アルゴゲーム

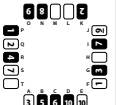
プリント

学年に合わせた思考プリントに取り組みます。問題が解けたことに満足せず、なぜそうなるのか「説明」をすることで、抜け目のない論理的思考を磨きます。

5・6年生

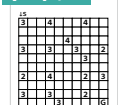


Sチャレパー

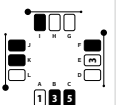


ディベート

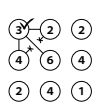
1～4年生



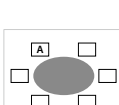
迷路



詰めアルゴ



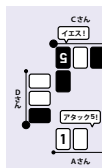
ナンバーリンク



チャレパー

アルゴゲーム

論理的に考え相手のカードを当てていく整数対戦ゲームです。場や手札のヒントから推測する論理的思考、短い時間で考え抜き決断をする判断力、相手の思考を読み取る客観視点を得意にします。



※1年生は60分
プリントなし

2022・2023年度生

体験申込 受付中!

アルゴクラブ HP <https://www.hanamarugroup.jp/algo/> ▶▶▶



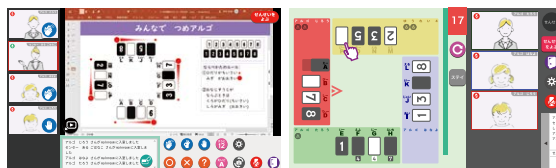
対面教室



目の前の仲間と真剣勝負

個人で記録を目指すだけでなく、目の前の仲間と協力したり、競い合ったりしながら、臨場感あふれる雰囲気の中で思考体験を積み重ねます。毎回のアルゴゲームでは、本気で考え抜く楽しさを感じながら、手に汗握る真剣勝負の醍醐味を味わえます。

オンライン教室



安心して没頭できる

ご自宅などリラックスできる空間で問題に没頭しつつ、グループビデオ通話で仲間と交流しながらご参加いただけます。花まる学習会が独自開発したオンライン授業システムで、対面さながらの臨場感と緊張感を味わえるアルゴゲームを楽しめます。

職人の無人島レポート 20

いよいよ近づくサマースクール。「花まる子ども冒険島」で子どもたちを受け入れるため、カトパンと職人の新たな挑戦が始まりました。

醤油メシ（おまけ）

翌朝。カトパンとダンチクの根を掘り返している、いつもと違う感じがした。ふたりとも、なんか力が出ない。動きがゆっくり。疲れているのかな？まあ昨日は山の向こうまで行ったし、穴掘りは力仕事だし。などと思つて納得しかけたとき、カトパンが声を上げた。「ああ！米しか食べてないからじゃないですか！」「確かに！」

なるほど。食べ物でこんなにも身体のコンドーションが変わるものなのか、と栄養バランスへの興味は湧いたが、力は湧いてこない。作業のペースが変わらないまま昼近くになったとき「海に何か捕りにいきましよう」とカトパンが意を決したように言った。かつこいぜ。

しかし、磯に来てみたものの、お腹を満たすような生き物はなかなか見つからなかった。私の動きは次第に緩慢になり、さらなる省エネモードに入ってしまった。当たり前のことだが、狩猟採集をするにも体力がいるのだ。私は食べ物を探しふりをしてゴロゴロするのちよよい角度の岩棚とかを探し始めていたが、逆にカトパンはゴーグルを持ってきて磯に潜り、生き物を探していた。かつこいぜ。

すると、カトパンが「いたー！」と歓声を上げた。海のなかから何かを引っ張り上げよ

うとしているが、なかなか出てこない。何かいたんだ、と駆けつけると「切れたーっ！」とカトパンが手に握っているものを見せた。細長くクネクネしている。たかさんの吸盤。タコだ。以前どれほど探しても見つからなかったタコを、カトパンは諦めずに探し続けていたのだとそこに気づいた。かつこいぜ。

カトパンが2本目の足をちぎったところで、私は交代するために海に入った。水深は腹のあたりまでであるが、潜らなくてもタコにはなんとかが手が届く。逃がさないようにギリギリまでカトパンが手で押さえているところに手探りで寄っていく、タコをつかんだ。タコは2本の足を失いながら、なおもピタリと海中の岩の隙間に張りついていてた。普通に引いてもはがせそうにない。タコも命がけなのだ。そう思ったとき、自分のなかで力チリと何かが切り替わった。指先にこれ以上ない力をこめて、タコの足を握り込む。「絶対に逃がさない」という意思を指の力にのせて伝える。言葉が通じずとも力での意思を伝える。「もうダメだ」「逃げられない」「諦めるしかない」お前がそう思うような力を入れてやる。全力。持てる力のすべてを込める。相手が命をかけるなら、こちらもし生き物として全力を出す。生命力の張り合いをしようぜ。

渾身力でタコをつかんで引くと、さらに2本の足がちぎれた。タコが墨を吹く。目くらましとしての効果はすでにないだろう。し

かし、持てる力のすべてを出すことには意味がある。だからこの墨には意味がある。俺はこの墨に敬意を払う。足の数が半減して、しがみついても半減しているはずだ。そろそろか。いや関係ない。全部の足をちぎってもお前を捕る。そう決めている。いままでになく手ごたえ。重みのあるものが剥がれていく感触。そして、ついにタコを引き上げた。

やったー、とタコを手にとり点検に戻る。闘争本能が掻き立てられて動物に近くなっていたのか、なんかもう単純な言葉しか出てこなくなっていた。タコの足はちぎれたあとも動いていて、触ると吸盤が吸いついてきた。すげえ。「もう食べてみよう」野生状態の我々は、そのままちぎれた足を口に入れた。うめえ。タコの本体は丸ごと網焼きにして食べた。すげえうめえ。しばらくアホになる可能性があるが、タコを食べてみた人は、ぜひ挑戦してもらいたいと思う。



カトパン、執念のリベンジ。

そのままかぶりつく。

カトパン 加藤 崇彰

花まる学習会 無人島プロジェクト責任者。学生時代から、花まるの野外体験に深くかかわってきた。現在は広島県へ移り住み、オンライン教室の教室長を務めながら、開拓団の受け入れや無人島開拓の準備を進めている。



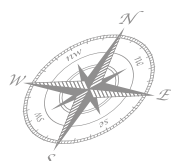
職人 橋本 一馬

花まる学習会関西ブロック教室長。前職が家具職人だった経歴から、「職人」のモデルネームを持つ。その経験を元に、野外体験「ものづくりの国」、オンライン工作教室など、独特なイベントを担当している。家具製作技能士、狩猟免許など、ちょっと変わった資格や経歴を活かし、「メシが食える大人」に独自の視点でアプローチを行うことが好き。今回、趣味のキャンプ経験を買われ、無人島開拓に喜んで参加した。



今どうしてる？

卒業生物語



花まる学習会・スクールFC卒業生のその後に迫ります。
第17弾は、大変貌を遂げた伝説の卒業生にインタビュー！

ようこそ先輩!!



たかの たいじゅ
高野 泰樹さん

【花まる学習会】南浦和教室（～小4）

*担当教室長：Rin（井岡由実）

【進路】聖学院中学校・高等学校→国際基督教大学（ICU）

【現在】K-BALLET COMPANY バレエプロデューサー

と泰樹とでいろいろ話したんだよね。みんな悪いやつじゃないんだけど、違う文化に対して敏感に反応したという。

野 小学生時代にはよくあることですね。

■幼い頃に見ていた世界

演 泰樹のお母さんは当時すごく悩んでいたんだよ。お兄ちゃんが運動もできない勉強もちよろつとすれば私立に通るタイプだったから、体も小さい泰樹が比較されてかわいそうというか、この子にどう自信をもたせたいのかって。

野 周りが思うほど僕は自信がないわけではなかったんだよね。大人たちが憐れんでいるな、ということは感じていました。花まるでも先生方がものすごく丁寧に対応してくださるので、同情されているのかなと思うこともあって。僕は好きで一人でいたし、クラスに溶け込めていないわけではないと思っていました。けれど。

演 こちらはものすごく心配していたんだけれど、そだったのか。

野 両手と両足を使って算数をやっていましたからね（笑）

演 そうなんだよ。両手両足で数えていたら、手を差し伸べないといけないと思うもんね。でも本人はまったく困らず、世界を淡々と眺めていたのか。

野 問題児だったんですけどね。他人の車に自分の名前を書くイタズラをしたり…。

演 そりゃあ大人たちはどうしたもんかと悩むよね。

■人生のターニングポイント

演 幼い頃は楽しく問題を起こしていたとして（笑）変わったなと感じるようになったのはいつ？

野 ターニングポイントは…中学2年生のときのアメリカへのホームステイです。鉄道を乗り継いでダウンタウンに行ったり、食事を買いに行ったりして、どこに行っても生きていける自信がきました。

演 おもしろいなあ。

野 そこで自分がマイノリティになる経験もして、自分の国のルーツに興味をもつようになったんです。父の本棚にあった松岡正剛さんの『17歳のための世界と日本の見方―セイゴ先生の人間文化講義』（春秋社）を読んで感銘を受け、それ

からは彼の本をむさぼるように読みました。

演 中学生で？すごいな。

野 もともとルールに従うのがいやで学校は苦手だったんですけど、本を読んで知りたいことを吸収するのはすごくフィットしましたね。

演 いやあ、久しぶりに会ったら大活躍しているから「あの泰樹が!？」って本当に驚いたんだよ。実は泰樹のお父さんは俺の1冊目の本を出してくださった方でお父さんの後ろ盾なんじゃないかって思うくらい（笑）でも泰樹が道を切り拓いていったんだな。そのあたりも詳しく聞かせてよ。いまは…？

野 バレエのプロデューサーをしています。

演 脚本も書いているのか。すごいなあ。10年後には大物文化人になっているかもしれないね。本当に楽しみだよ。応援しています！

野 ありがとうございます！
家族のことやバレエプロデューサーへの道のりなど、全編はこちら！





イギリスの作家C・S・ルイス（1898～1963）による『ナルニア国ものがたり』第一巻『ライオンと魔女』。ピーター、スーザン、エドモンド、ルシーという四人きょうだいが衣装タンスを通り抜け、さまざまな仲間とともに、危機に陥ったナルニア国を救うために活躍します。

作者のルイスはオックスフォード大学の英文学者であり、キリスト教に関する研究書も多く著している宗教家。そのため、この『ライオンと魔女』には旧約聖書を思わせるシーンやキャラクターが多く描かれています。たとえば、ナルニアにおける絶対的な存在として登場するライオンの王アスラン——終盤で一度命を落とすものの、その後よみがえる——は、人間の罪を背負って十字架にかけられたキリストの受難と復活を明確に表していると言えます。

もちろん、そうした背景知識がなくても、この物語は純粋に主人公の子どもたちがふとしたきつかけで「ここではないどこか」へと旅立ち、心躍る冒険をくり広げる傑作ファンタジーとして世代をこえて楽しめます。自分のなかの「善」と「悪」、真の勇氣、世界の広さと美しさ——ぜひこの物語をひも解いて、登場人物たちとともにさまざまな思いを抱きながら、想像の世界への冒険にくり出してみてください。

そんな『ライオンと魔女』のなかで、ひととき印象的に描かれている食べ物、エドモンドがナルニア国を支配する白い魔女からもらう甘いお菓子「プリン」です。

「そちがいちばんすきなものは、なんじや?」

「プリンでございます、女王さま」

すると女王は、おなじびんから、雪のなかへまた一しずくたらしめました。するとたちまち、緑色の絹のリボンでしばった、まるい箱が一つあらわれ、それをひらくと、おいしいそうなプリンがどっさりでてきました。どのプリンもふわふわして、あまくて、これ以上おいしいものをエドモンドは食べたことがありませんでした。

（C・S・ルイス作／瀬田貞二訳『ライオンと魔女』岩波書店より）

実はこのプリン、原文では「ターキッシュ・デライト（Turkish Delight）」とあり、19世紀にトルコからイギリスにもたらされた伝統的なお菓子です（トルコでは「ロクム」と呼ばれています）。訳者の瀬田貞二氏は、当時の日本ではまだ馴染みがなかったこのお菓子を、読者である子どもたちがイメージしやすい食べ物に置きかえたこと。

イギリスではバラ味やレモン味、ピスタチオなどのナッツが入ったものがよく売られています。ぜひうちでも色鮮やかなターキッシュ・デライトを作って、クリスマスに彩りを添えてみてはいかがでしょう? もちろん、おいしいからと言ってエドモンドのように食べ過ぎることのないように……!



『ライオンと魔女』

C.S.ルイス 作
瀬田貞二 訳
(岩波書店)



スクールF C
ひらめま 平沼 純

平沼 純



ターキッシュ・デライト（ロクム）

さきょうじかん ぶん かた じかん ふく なんいど
作業時間：30分（固める時間は含まず） 難易度：★★☆☆☆

レシピ・写真提供：料理家 江口 恵子（natural food cooking）



材料

ゼラチン…………… 20g
水…………… 大さじ1

グラニュー糖…………… 300g
みず…………… 100cc
レモン汁…………… 20cc
塩…………… ひとつまみ

コーンスターチ… 1/2 カップ

作り方

- ①約15cm角の容器を水にさっとくぐらせ、水気を軽く切っておく（濡れているほうがいいので拭かない）。ゼラチンを小さな容器に入れ、水を回しかけて5分ほどおき、なじませておく。
 - ②鍋に水とグラニュー糖、塩を入れて中火にかける。沸々としてきたら弱火にして3分煮詰め、火をとめる。
①のゼラチンを加えて丁寧に溶かす。
 - ③レモン汁を加えて粗熱を取り、①の容器に注ぎ入れる。固まるまで1時間ほど、そのまま涼しいところに置いておく。
 - ④完全に固まったら、コーンスターチを上から薄くまぶす。コーンスターチをまぶしたテーブルナイフを容器のふちに刺し込んで1周し、型から出す。全体にも薄くコーンスターチをまぶし、食べやすい大きさにテーブルナイフでカットする。
 - ⑤コーンスターチを軽くはたいておとし、お皿に盛りつける。
- *保存はコーンスターチをたっぷりまぶして、密閉容器に入れて冷蔵保存。冷蔵庫で2週間保存可能。



～ Happy X'mas & Happy New Year! ～



『クリスマス・クリスマス (たくさんのふしぎ傑作集)』

角野 栄子 作
(福音館書店)

華やかなニューヨークのクリスマス。厳かな雪囲風の漂う東欧のクリスマス。一風変わったオーストラリアの真夏のクリスマス……。世界各地のクリスマスの風景を紹介しながら、ツリーやクリスマス料理、サンタクロースなど、クリスマスにまつわるさまざまなものの意味と、そこに込められた人々の願いが紹介されます。2018年に国際アンデルセン賞を受賞した作者による、クリスマスをよりディープに楽しめるようになること請け合いのノンフィクション。



『かくさとし こどもの行事 しぜんと生活 12月のまき』

かくさとし 文・絵
(小峰書店)

知識絵本の大家、かくさとしによる行事絵本シリーズの一冊。全国で数多く伝えられている「ならわし」や祭り、西洋から入ってきた行事、自然や生活習慣などが幅広く紹介されていて読みたえたり。12月の巻では秩父夜祭、羽子板市、クリスマス、大みそかななどがユーモラスなイラストで解説されています。クリスマス飾りの工作や冬の伝統的な遊びなどの情報も満載。



『ムーミン谷の冬』

トーベ・ヤンソン 作・絵
山室 静 訳
(講談社)

長く厳しい冬が訪れ、みんなが冬眠に入ったなか、ムーミントロールはひとり目覚めてしまいます。しかし、「死の世界」だと思っていた冬のムーミン谷にもさまざまな生命がいて……。たくさんの個性的なキャラクターたちとの出会いを通して広がる、ムーミントロールの世界。「ものごとってものは、みんな、とてもあいまいなものよ。まさにそのことが、わたしを安心させるんだけどね」など、印象的な台詞の数々も魅力。



『グロスターの仕立て屋』

ピアトリクス・ボター 作・絵
川上 未映子 訳
(早川書房)

クリスマスの前日、イギリスの町グロスターに住む貧しい仕立て屋は、市長の服を作りはじめました。ところが仕立て屋は高熱で寝込んでしまい、服が作れなくなってしまいます。するとネズミたちが代わりに針と糸を持って集まってきて……。2022年に出版120周年を迎えた『ピーターラビット』シリーズの一冊で、芥川賞作家・川上未映子氏による新訳。動物たちがしゃべるなど、不思議なことが起こるとされる聖夜に起きた奇跡の物語を、ぜひお楽しみください。



『さむがりやのサンタ』

レイモンド・ブリッグズ 作・絵
すがはらひろくに 訳
(福音館書店)

今年8月に逝去したイギリスの絵本作家、レイモンド・ブリッグズによるロングセラー。常に文句をつぶやいていて、でもどこか憎めないサンタクロースの知られざるクリスマス・イヴの一日が、マンガのようなコマ割りで描かれています。彼のもう一つの代表作『スノーマン』や、核戦争を題材にした異色作『風が吹くとき』、ブリッグズの両親の人生を描いた映画『エセルとアーネスト ふたりの物語』などもあわせておすめ。



1月〈第9回〉「時空をこえた旅へ ～SF、ファンタジーの傑作たち～」

宇宙へ飛び出したり、タイムマシンに乗って時間旅行をしたり、異世界の住人と出会ったり……。新年最初の講座では、定番のファンタジー小説のほか、実は傑作の宝庫であるYA（ヤングアダルト）SF小説の数々をご紹介します。自分が生きるこの世界がどこか違って見えてくる不思議な感覚を、ぜひ味わってください！

1/19 (木)・1/21 (土) 10:30 ～ 12:00
参加費 一家族 500 円 (税込)
申込締切 開催前日の 19:00

<https://www.schoolfc.jp/extension/j-hiranuma/2022/>

全国から
参加可能！





セザール・ フランク

1822 ~ 1890 フランス

アノネ ラウンジ Lounge

アノネ音楽教室の作曲家の人生を辿る伝記教材『オペラ』の一部をご紹介します！クラシック音楽の作曲家を毎回一人取り上げて、名曲が生まれたストーリーに迫ります！



フランク

立派な類ひげに、優しい笑顔が似合うフランスの音楽家があります。音楽の先生であり、オルガニストであり、作曲家だった、セザール・フランク。弟子たちから「フランク父さん」と呼ばれて慕われた人です。

セザール・フランクは、1822年12月10日、ヨーロッパの北にある国ベルギーのリエージュという街で生まれました。フランクはピアノを、弟ジョゼフはヴァイオリンを習い始め、二人はどんどん上達していきました。

しかし、パリ音楽院を卒業したフランクは、お父さんと大喧嘩をするのです。

「ぼくは愛する人と結婚して、静かに暮らします」

「小さな劇団の女優と結婚だなんて冗談じゃない！お前は人々から拍手喝采される有名音楽家になるんだ」

銀行で働いていたお父さんは、お金もうけのことを考えるのが好きな人でした。二人は分かり合えず、フランクはとうとう家を飛び出しました。そして、2歳年下のフェリシテと結婚。教会に行っパイプオルガンを弾き、ピアノのレッスンをしてお金を稼ぎながら、毎日何時間が作曲をする、そんな日々を過ごします。

35歳で新しくできたばかりのサン＝クロチルド教会のオルガニストになった頃には、フランクの即興演奏は大評判になっていました。たくさんの人がフランクの演奏を聴きにやってきます。フランク・リストなど、有名な音楽家もフランクの演奏を口々に称えました。毎日少しずつ進んでいた作曲も、実を結び始めます。作曲に2年ほどかかった『大オルガンのための6曲集』は、その時代のフランスで一番のオルガン曲と言われるようになります。

『ピアノとヴァイオリンのためのソナタ イ長調』 FWV8 (1886年)

「フランクをぜひ、パリ音楽院の先生にしよう！」そんな声に推されて、フランクが音楽院で先生になったのは、51歳になる年のことです。フランクの授業のやり方は、独特でした。参考書や教科書は使わず、生徒が書いた楽譜を見ながら一人ひとりに声をかけていくのです。「この部分はいいね、ぼくは好きだよ」少しもいばることがない優しい先生は、いつも生徒の輪に囲まれていました。このときに出会った生徒たちが、のちにフランクを「フランク父さん」と呼ぶ弟子です。フランクも弟子や仲間たちを愛し、多くの作品を捧げています。フランクが書いたたった1曲の交響曲である『交響曲二短調』は、病気を治すために田舎で休んでいた弟子に捧げられたものです。そして、ヴァイオリンとピアノの両方を主役にした名曲『ピアノとヴァイオリンのためのソナタ』。この傑作もまた、友人に結婚のお祝いとしてプレゼントした曲でした。

ピアノとヴァイオリンのための
ソナタ イ長調を聴いてみよう



こころと頭を
同時に伸ばす
幼児期の子育て

Rinコラム

41

かかわる大人の 何が問われるのか

上手に作るスキルを教えるのではなく、創作や実験という行為を通して、子どもたちの感受性を磨き、好奇心や意欲、表現力、試行錯誤をしながら創造していく力を引き出していく。

たとえば年中コースの思考実験のように、何かを創り出すことを通して、学びと主体性を育む現場では、一方的に教える先生、というのはいりません。これは、家庭でも同じです。大事な役割を担うのは、先生ではなく、ファシリテーターのような立場の大人なのです。

純粹でひたむきな「意欲」を、大人の質問でさえぎらない。どうしても困ったときは、共同制作者としてのスタンスで寄り添い考え、「どうしたいのか？」を、とことん掘り下げ、ときに意見を戦わせませす。それが「相手を一表現者として尊重し」、「どう感じたかを言語化していく」過

程です。大事なことは、完成したものが（またはそのプロセスにおいて）上手か下手かという評価ではなく、その子が何を表現し、何を伝えなかったのかを、共感し、分かち合うこと。

そう、子どもたちが大胆に、自由に自分らしさを表現するには、その場にいる大人が、多様性を受け入れる素地を持っていることが問われるのです。彼らがやりたい、と思うことに、ジャッジするのではなく寛容であるか。子どものようなところで、柔軟に。促すのではなく、受け入れられるか。

「もうおしまいなの？まだ白いところあるよ」

「それ以上混ぜないで。汚くなっちゃう」「りんごって何色だっけ？」

大人の都合や、価値観によって投げかけられるこれらの言葉。作品を作っている作者は、自分ではなく、目の前にいる子どもであることが忘れられているのかもしれない。

遊びや創作は、親を満足させるためにするものではありません。自分の「やりたいこと」と対峙し、自分のために表現する。できあがったものは、いまの子ど

もの分身です。

人生も同じです。目指すべきは、誰かのために生きるのではなく、自分を信頼しながら、自分で決断し、選択した道に自分の人生を歩んでいくこと。そうすることで、めぐりめぐって、必ず誰かの役に立つ生き方ができるはずなのです。

みんなが、自分というアートを人生で作り続けるアーティストであれますように。そんな思いで、いつも子どもたちや、子どもとかかわる大人のみなさんとかかわっています。

「自分はどう感じるのか」を、大人も子どもも、大切に表現できる毎日でありますように。よい年末年始をお迎えください。

Rin (井岡 由実)



★アトリエラジオ Season2 ★
まもなくスタート！



オンライン Atelier for KIDS

全国から
参加可能！

2月は【オンラインARTプロジェクト2023】を開催します。

(対象：これまでにAtelier for KIDSに参加したことのあるご家族)

Rin (井岡 由実)

花まる学習会取締役、「ARTのとびら」主宰。児童精神科医の稲垣孝氏とともに、心を病んだ青年たちへの専門的な対応に専心。花まる学習会中年長向け教材開発に携わり、冊子『1年生になる前に』では、幼児期に伸ばしたい能力や感性の教育について論じる。著書に『こころと頭を同時に伸ばすAI時代の子育て』（実務教育出版）ほか。

RinせんせいのSNS
ARTのとびらYouTubeなど
すべてのリンクは
こちらから▶



1/22 (日) 10:30～12:00 ペーパーART おかわり！

参加費 1名 3100円 (税込・材料郵送料込)
定員 年長～中学生 36名 (抽選) ※年長はリピーターのみ
申込締切 1/4 (水) 19:00 <https://www.hanamarugroup.jp/art-edu/news.php>



メロディーは覚えている

数年前のサマースクールでの出来事です。年長の子どもたちを連れて外に出ると、青い空と緑の草原のいたるところにたくさんさんのトンボが飛び交う光景が広がっていました。トンボたちを追いかけてながら、誰が作ったのか、かわいらしい歌を子どもたちが歌い始めます。

♪トンボまーつりー

パチパチパチパチ

♪トンボまーつりー

パチパチパチパチ

人懐っこいメロディーで部屋に戻るときもみんなで歌いながら歩き、階段も「パチパチパチパチ」と手拍子をしてリズムよく上がっていききました。興味深いことが起きたのはそのあとです。歌いながらのぼった階段は、食堂やお風呂へ行くときに必ず通るのですが、子どもたちはそこを通るたびに思い出したように「トンボまーつりー」を歌い出すのです。場所と歌がつながって、一つの記憶として刻まれていたのでしょうか。何年経っても忘れられない、子どもたちとの楽しい思い出です。

あまりにも当たり前のことであるために見過ごしてしまいがちですが、人間は歌を覚えることができます。プロの歌手であれば何百曲、あるいは千曲以上覚え

ている人も少なくないでしょう。たとえ一曲の歌であってもテキストとして覚えるとなると相当な努力を要するはずですが、そこまでの苦勞をすることなく、人は歌詞を覚えられます。メロディーが記憶することを助けてくれるのです。

これは何かを覚えるときにおおいに役立ちます。たとえばかけ算の九九。これも歌のようなメロディーはなくても、声に出して節をつけるだけで覚えやすくなります。低学年で扱っている古典教材の『たんぽぽ』も、

ただテキストを見ている

だけでは、なかなか覚えられません。声に出して、歌うようにして練習することで覚えれるようになるのです。

歌は不思議なほど人の記憶に残ります。私にはメロディーというものが、人間のより根源的で深い記憶に関係しているものに見えてなりません。アノネ音楽教室の授業を見学したとき、心の底から驚いたことがあります。教材にあるヨーロッパの民謡の、子どもたちが歌うそのメロディーに、私の大好きなビートルズに近いものが感じられたからです。ビートルズといえばエルヴィス・プレスリーやボブ・ディランの影響がよく語ら

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る



タカラモノ

はここに

vol.8

by 山崎 隆

れますが、実は彼らが子どもの頃に歌っていたであろう民謡の影響が想像以上に大きいことに気づいたのです。彼らもロックスターである前に、「ヨーロッパの子どもたち」だったと言えるかもしれません。一つの文化圏を超えて、人類に共通する感情を呼び起こすメロディーは存在するのでしょ

う音楽評論家は『これを聴け』（みすず書房）のなかで、悲しみの音楽に共通するある音型の存在を指摘しています。「人々は泣くときに、ふつ下下に滑るようなノイズを出し、そしてより高いピッチに跳躍し、また下になりはじめる。世界中の嘆きの音楽に似たようなことが見られるのも、驚くことではない。」そしてそれが「四度音程を下行する」音型だと言っています。

泣き声は言葉が生まれる前から存在していました。ある音型が言葉に頼らずとも、感情を伝達する力を持っていたとしても不思議ではありません。音楽は言葉になる前の感情に直接触れるからこそ、言葉では表せない感動を人に与えることができるのでしょうか。

現代は何をするにしても「データ」や「エ

ビデンス」が必要だと言われます。確かにそれ自体は大切なものであるに違いありませんが「作られていないデータ」や「あがっていないエビデンス」が確実にあり、そのことへの想像力もまた必要なのです。それらがすべて可視化されることなどあり得ない以上、直観も含めた人間という生き物への理解が大切になります。データやエビデンスから最適解を出すことならば、やがてAIができるようになるでしょう。人間の内面に直接触れることができる音楽は、それではとらえきれない人間という生き物への理解を助けてくれるはずです。

古代ギリシャやローマの学校ではリベラルアーツとして幾何学や算術と並び、音楽も最重要科目とされてきました。「自由になるための学科」として音楽があったのは、「教養」としての意味だけではなく、たのしさや楽しさを感じてほしいからだと思います。

花まる学習会 山崎隆



山崎 隆 Yamazaki Takashi

東京東ブロック教室長。千葉県の内陸部出身。2歳上の姉と3歳下の弟と、だっぴりょうい関東平野の片隅で育つ。小さい頃、外遊びはもちろんだが室内で遊ぶのも好きで、図鑑を開いては恐竜のいる世界を想像していた。高学年の頃より伝記を通して歴史に親しむ。休みの日には、青春18きっぷで目的地もなく出かけることを楽しみにしている。

わが子にかける魔法のことば

先日、テレビで芸人の劇団ひとりさんがお子さんの話をされていました。

「息子が牛乳をこぼしたときに、すぐにティッシュペーパーで拭いたのでほめたんです。そうしたら、翌日から牛乳をこぼして拭くようになったんです」

という話でした。とてもかわいらしいエピソードでした。それを聞いて、やはりそうかと思いました。

娘を育て、授業や野外体験でたくさんのお子さんをお預かりしたなかで感じている大切なことは、「普通にできていることを認める、ほめる」ということです。もちろん、失敗したときなどにこうしたほうがいいと伝えることは重要ですが、それ以上にできていることを「認め・ほめる」ということが大切です。

サマースクールで100人の子どもが外の活動から戻ってきたときに、暑さや疲れもあり玄関の靴がバラバラになっていたりがありました。その段階で子どもたちを呼び戻して、「靴を揃えなさい！」と言うこともできませんでした。バラバラの靴を見て落胆している

スタッフもいたので、「大丈夫、ちゃんと伝えれば明日はきれいに揃えてくれるよ」と伝えました。その日の夕食の前に、子どもたちに私の気持ちを伝えました。「夕方、外から戻ってきたときに玄関に行ったら、靴がバラバラになっていました。でも一足だけ、きれいに揃えてられていた靴がありました。それは〇〇さんの靴です。その靴が輝いて見えただ。そして、本当に嬉しかった」と。

翌日、外の活動から子どもたちが戻ってきたあとに玄関で見た光景は、いまでも忘れることはありません。100人の子どもの靴がきれいに揃っていました。その日の夕食の前に、子どもたちに伝えました。「今日はとても嬉しいことがありました。玄関の靴が全部、輝いて見えました。本当に嬉しかったんだ。みんなありがとう」

このコースが終わり、保護者の方からのアンケートには「靴」と「揃える」という言葉とともに、感謝の言葉をたくさんいただきました。

「サマースクールから戻ったわが子が疲

花まるコラム

2022 年 12 月

れてクタクタなのに、わざわざ荷物を置いて靴を揃えたんです。その姿を見て、泣きました。本当にありがとうございます。」

「家に帰ってきておもしろかったことを聞くと、私の手を引いて玄関に連れれていき、揃っている靴を指さして、『輝いているでしょ!』と言いました。誇らしげなわが子の顔を見て、成長したなと感じました。それを見たパパも、慌てて靴を揃えていました。そして三人で『輝いているね』としばらく眺めていました。」

できたことをほめて、認めてあげることで、できなくても気づかせてきたらほめてあげることで、日常のなかで、できて当たり前前のことを改めて認めてあげることで、自信やほかのことを頑張る原動力になります。なかなかできないことでも、一回できた瞬間に認めてほめてあげることがポイントです。自分で起きる、何も言われなくても歯を磨く、「いつてきます」と言う、「あ

りがとう」と言う、下の子の面倒を見る、ごはんの時間になったらテレビを消す、

学校に行く、洗濯物を洗濯かごに入れる、など、すでにできていることをぜひ言葉にしてほめてあげてください。「最近、言うことを聞かなくて…」という相談を受けることがあります。その多くは、できていないことだけを指摘し、叱っているケースです。お預かりしているお子さまやわが娘二人にも毎回伝えていることは、「できないことがあるからダメではない、忘れてしまいうからダメではない、必ずできるようになるから、忘れないようになるから、そのときを楽しみにしているね」と。

この言葉は魔法のように子どもたちに残っていきます。そしてできるようになったときの、あの嬉しそうな笑顔を、これからも見届けていきたいと思っています。

花まる学習会 箕浦健治



はな きょうしつちよう しょうかい
花まるの教室長を紹介します！

はな 花まるファミリー

FC …スクールFC

♪ …アノ音楽教室

アルゴ …アルゴクラブ

🌐 …オンライン

🏝️ …無人島

Flos …フロス

きょうしつちよう じゅんぱん しょうかい
みんなの教室長も順番に紹介するよ。お楽しみに！



うつみ たくや
内海 拓也

千葉

神奈川県



おばた ななみ
小幡 七海

関西

京都府



かのもと たくや
金本 卓也

埼玉

広島県



こいけ まき
小池 麻菜

神奈川県南

山梨県



しば けんた
柴 健太

東京南

東京都



つばた あつき
坪田 充生

茨城

東京南

東京都



にしやま ゆなの
西山 由乃

東京南

神奈川県



はやし たくろう
林 拓郎

東京西

長野県



ふるだて ちよみ
古舘 千代美

東京西

埼玉県



みずの あおぞら
水野 青空



神奈川県



たかはま まさのぶ
高濱 正伸

〇〇〇

熊本県

リーダーネーム

名前
所属

出身地

サマースクールや雪国スクールで会おうね！

12月の誕生花は ポインセチア



高濱が、花まる教室長をちょっとおちゃめで紹介する新コーナー！自己紹介ならぬ他紹介で、花まるの仲間たちを一年かけてまっつ紹介しちゃいます。どうぞお楽しみに！